

## 欧州諸国、各地の薬局における自然由来原料製品に対する考察

謝 心 範、山 本 理

### The Current Status of Natural Product Food Supplements at Pharmacies in European Countries

Shinhan Sha, Masaru Yamamoto

【キーワード】 サプリメント、OTC、医薬品

#### はじめに

機会を得て、2018年10月17日から30日までクロアチアのドブロブニク、トルコのモンテネグロ、ギリシャのコルフ島、サントリーニ島、イタリアのナポリカプリ島、ローマを訪れた。可能な限り現地の皆様の生活、薬局の営業の妨げにならないように注意しながら、各地の薬局を訪ね、自然由来の植物を利用して製品化した医薬品、或いはサプリメント、健康食品の様子、販売状況を視察したので報告する。

#### 1. クロアチア ドブロブニク

この世で天国を求めるはドブロブニクを訪れよ、とバーナード・ショウが書いている。国内外でアドリア海の真珠と呼ばれユネスコ世界遺産として保護されている。この町はクロアチア最南端に位置し、ルネサンス様式の公園、中世の石造邸宅や静かな修道院の庭に温暖な地中海気候の中で育つ亜熱帯のレモン、オレンジ、ミカン、椰子など咲き乱れている。

昔、ドブロブニクは地中海の小さな海運通商国家で、80以上の都市に領事部を置き、ベネチアに匹敵する700隻の商船を保有していた。目抜き通りストラドヴンは何百年の間人々の通行により磨かれた石畳が滑らかに輝いている。城壁は旧市街を取り囲む総延長1,940mの要塞で、高さ25m、壁の厚さは海側3m、山側6m。中には14-15世紀に建造されたフランシスコ会修道院があり、ロマネスク様式の回廊の壁には、病める人々と彼らを癒す修道院の姿が描かれている。

旧市街内唯一、しかも大変歴史がある有名な薬局はフランシスコ会修道院内にある。薬局の外に緑の十字が飾ってある。扉は閉まっているが、開いたので中をのぞくと営業時間が終わったようだ。過去と現在の薬局の変化、薬の変化、希望などを聞いたかったが、残念だが無理であろう。薬局の窓と外から展示されている薬を作る歴史的な道具、容器や説明文を許可を得て撮影した。これらの道具は自然由来の原料を加工する痕跡が残っている。当時、どのような原理の元で開発、加工されたのか興味津々である。



## 2. コトル モンテネグロ

アドリア海が陸地に入り込み、複雑な入江となっているモンテネグロのコトル湾一帯には、中世から港湾都市として栄えた町々が点在している。中でも湾の最も奥に位置するコトルは中世の薫りが色濃く残る町でユネスコの世界遺産である。

古来、様々な国に支配されながらも自治を守って繁栄してきた町である。石畳の路地沿いには、12世紀から14世紀ごろに建てられた建物が立ち並び、まるで時が止まっているかのようである。特に目立つのは教会で、コトルはカトリックとギリシャ正教会の文化圏が重なっており、双方の教会が数多く存在する。

四世紀にわたるベネチアの支配は町にベネチア様式を特徴付ける建物を残す事になる。この間、ルネサンスに関連した文学も大いに隆盛した。ベネチア支配下のコトルでは2度オスマントルコの支配や1572年のペストの流行、1563年と1667年の地震による破壊も経験している。

コトルは地理的にはアドリアハイウェイによってクロアチアなどアドリア海沿岸とヴルマツトンネルによってモンテネグロ内陸部と結ばれている。テイヴェト空港はコトルから5km離れた場所にあり、ベオグラードやモスクワ、パリへの定期便の他、夏のバアコンスシーズンには数多くのチャーター便が就航している。ポドゴリツァ空港は65km離れた場所にあり、欧州の各都市へ就航している。

コトル市街の人口は13,510人で基礎自治体内の行政的な中心である。コトルの町内唯一緑の看板を掲げている薬局を見つけた。白衣を着ている一人の老婆は店内で接客中だが、タイミングを

見計らいこちらの希望とお願い、又、インタビューをした：

当店はOTC薬局で、町内唯一の薬局である

処方薬は僅かであるが、その殆どが化学医薬品である。

漢方薬は知らない

原料が自然由来の製品を使用しているのはサプリメントである

多種類の原料で構成されている製品もある

用途、使用目的、希望する効果を具体的に明確にすれば、製品を薦めることが可能

お客様がいらっしゃるので製品の撮影は一寸不便そうな表情を示すが、店内の一角で数品目を撮影した後店を出る。



イチョウ葉乾燥エキス：耳鳴りとめまいに効果



前立腺調整機能



### 3. ギリシャ コルフ島

コルフ島は古代-中世から19世紀に至るまで東地中海の海上交通要地としていつも華々しく歴史の表舞台に登場していた。イタリアにほど近い場所でもあり、ヨーロッパ列強に支配されてきた。そのためイギリス、ベネチア、フランスなど西欧的な要素と地元の文化が混合している。

コルフ島は全体に水に恵まれ、肥沃な土地が広がっている。400万本とも500万本とも言われているオリーブの樹から高品質のオリーブ油が穫れ、主にイタリアへ輸出されている。また、トマトも大切な特産品である。島都市コルフの旧市街を歩くと、フランス風の通りやベネチア風の

家々、その横にはイギリス風の建物、ギリシャ正教の教会が並ぶなど、街道全体が不思議な調合を見せている。迷路のような裏道で不思議な感覚を覚える。

緑の十字看板が光っている薬局の目の前に立っている。家族経営のような小さな薬局である。大変ご高齢なお婆さんは奥にある机の前に座って、書類を確認している。2、3人の若い店員は店内各所各自で整理、接客、電話中である。時々処方箋らしいものを持っている顧客が来店する。やや中堅幹部と見える方に声をかけた。インタビューを纏めた：

この薬局は150年歴史がある  
処方薬と自然由来のサプリメント、化粧品を扱っている  
当店では部分サプリメント、化粧品も作っている  
医薬品、サプリメント、化粧品を作る歴史、実績、評判がある  
店内の商品は輸入品、或いはギリシャのメーカーの製品  
サプリメントが効能効果があり、薬品より安全、常に選択して使うべき  
漢方薬は知らない。効果があるのか？  
東洋医学も知らない



オオオアザミの乾燥抽出物のシリマリン含有



肝臓保護機能



化学的な医薬品も販売しているようであるが、自然由来のサプリメントを積極的に薦める態度傾向がある。しかも自信満々の薦め方で。

#### 4. ギリシャ サントリーニ島

標高差は250mの崖の上に白い街道が広がるフィラ・タウンは目の前にある。フィラから11km北の古い町、イア・タウンがある。

イアの街の特徴は、柔らかい岩を切って造った小さな家は白、青、黄土色の塗料で色付けされている。細く舗装された横町は岬からエーゲ海に沈む夕日を見ることが出来、岬までの道沿いにはブティックやカフェが並ぶ。

ガイドブックや絵葉書に必ず登場する青い丸屋根の家々は、まさにこの街の風景である。

サントリーニ島の正式名はテイラ島、この名は304年に流された聖イリーニに由来する。キクラデス諸島の一番南にある島の一つである。他の島とは違うのは、有史前の火山の爆発によって出来た300mの断崖島で、赤茶けた火山の岩の荒々しい肌となっている。現在のように三日月型の島の形になるまでは、何度も火山の爆発があったという。噴火前は、近くの島々全てが一つの円形島であった。大爆発により原型を失い、中心が陥没。陥没した中央に溶岩が噴出して出来たのが2つのカメニ島である。

この島に文明がもたらされたのは紀元前3000年頃で、大噴火によって姿を消した。

1956年に大噴火が起こり、フィラやイラの街の殆どが崩壊。現在の街は、それ以後に出来たものが多い。断崖の頂上にへばり付くようにある白い家が印象的である。火山灰はブドウの栽培に適し、ワインの生産地となっている。

イアで緑十字（赤い十字も表示している）の薬局と診療所の表示を見たが時間の関係で、訪問が出来ず、フィラへ戻ると大きな緑十字をみつけた。

薬局店内はお客が多いようである。店員は4-5人、責任者はやや若い男性、地中海の日差しのような笑顔で迎えてくれた。

薬局の経営を始めたのは1957年大噴火後、今は3代目

治療用薬もあれば、健康維持、増進するサプリメントもある

原料は自然由来のOTC医薬品もある

複数原料（成分）で構成された製品もある

自分の店では製造加工は行わず、ほとんどの製品を仕入れて販売している

製品はギリシャ、イギリス、フランス、ドイツ、アメリカなどの製品

治療薬とサプリメントの販売比はサプリメントがかなり多い

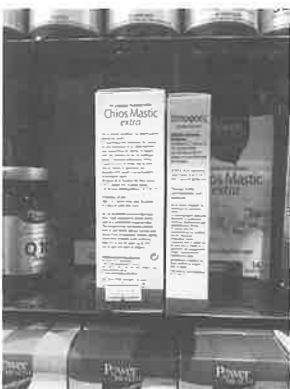
サプリメントの種類も多い

自然由来のサプリメントを求める時代になりつつある感じがする

肝臓、腎臓、認知症に対する効果的な薬、サプリメントは無い

漢方薬、漢方サプリメントはまだないが有名で歴史が長いので興味あり

店内に顧客は段々と増え、商品の撮影、会話が困難に成ったので最後に彼と一緒に写真を撮って、メールアドレスを書いて、「写真と資料を下さい、待っています。」と手を振って別れた。



(右) マーク サジー (沙棘) 乾燥抽出物含有

(左) 消化能力補助

(左) シナモン、オリーブの葉抽出物、消化器に効果、  
(中) クランベリー抽出物



滋養強壯の高麗人参抽出物含有

## 5. イタリア ナポリ カプリ

ナポリはローマ、ミラノに続くイタリア三番目の大都市で、ヨーロッパ最大の旧市街を抱える。国家統一以前、数世紀にわたりイタリア半島最大の国家首都であった。

南イタリア最大の都市であるナポリには北イタリアと比較すると、経済発展に深刻な課題を抱えている。旧市街は「世界遺産」に指定されている。

今回の訪問の目的地は青い洞窟の所在地カプリ島である。ナポリ港から高速船に乗って、1時間弱でカプリ島に着く。

天気は快晴であるが波が高く、青い洞窟の見学ができないが、カプリ島の丘の見学ができる。

カプリ島は人口が12,000人、観光シーズンに成ると、来島者人数は数倍に増える。

カプリ島に唯一ある薬局に尋ねる。

店員は一人、顧客は少ない。治療薬よりサプリメント、健康食品の数がやや多いような感じがする。インタビューした：

観光客と地元人のニーズが違う。例えば、観光客は皮膚の保護、美容、またレモン、ミカン類のサプリメントにニーズがあるが、地元の人は歯、鎮痛剤など関連薬品を求める。

自然由来のサプリメントが数多くある

比較的にサプリメント方が売れる

肝臓、腎臓、認知症に関する薬品、サプリメントは無い

人手が少ないので、邪魔すると申し訳ないと思いい店を去る。



アメリカ、カナダの特許製  
品：ドリンク剤(バナナ味、  
桃-マンゴー味など)

ベルガモットやリモネンの  
アロマ油

マッサージに最適なアロマ  
オイル(セイヨウオトギリ  
ソウなど含有)

## 6. ローマ、巨大なフィウミチーノ空港(通称：レオナルド・ダ・ヴィンチ空港)

ローマの起源は紀元前8世紀もしくは9世紀ごろ、北方からイタリア半島に移動してきた民族がテヴェレ川河畔に定住したことに遡ると言われている。イタリアの首都で政治、経済、文化の中心地である。かつてのローマ帝国の首都であったため西洋文明圏を代表する都市の一つである。

当市に囲まれるようにローマ教皇の居住するバチカン市国があり、そこは全世界のカトリック教徒にとっての中心地で、カトリック教会の中核である。

現在は外国であるが歴史・宗教・文化的にはローマ市地域と密接な関わりがある。

フィウミチーノ空港はイタリアにある有名な国際ハブ空港である。超巨大である。  
空港内の薬局を訪ねる。



店は超多忙である。お客が非常に多い、店員数人は其々接客しているが、話しかけるのは難し  
そうである。店内の光景、商品、薬品棚を観覧しながら、少し時間が経ったので、白衣を着てい  
るスマートな中年女性が笑顔で迎えてくれた。

インタビュー内容をまとめる。

此方では治療薬、OTC薬品、サプリメント、化粧品もある

すべての製品は輸入、仕入れて販売、製造はしない

製品メーカは、イタリア、フランス、イギリス、アメリカ、スイスなど多国

すべての製品（薬品、サプリメント、化粧品など）が其々の効能効果がある

健康増進の意識が増えている模様、サプリメントを求める顧客がかなり増えている

自然由来原料の医薬品、サプリメントが多くある。効能効果、有益性は明確に表示している

複数の原料（成分も含む）で構成された製品もある

漢方製品は無い

肝臓、腎臓、認知症に関連する製品は無い

将来、ニーズに応じて、製品のジャンルの拡大も可能

忙しい中に、親切に対応して頂き、大変有難い！



プロポリスを含んだ製品

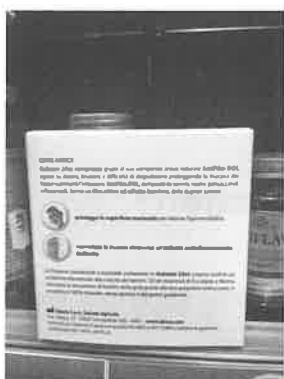


風邪薬





多糖類とミネラル含有の胃粘膜保護、逆流性食道炎への効果



のどの痛み軽減効果、ユーカリ抽出物、天然活性複合体、多糖類含有

## まとめ

合計6箇所の薬局を訪れたが、インタビューに成功したのは5箇所のみ。

最後のローマ空港以外はすべて地方にある小さく、伝統がある薬局であった。

これらの薬局は化学成分が主となる治療薬を販売していたが、同時に自然由来の原料を主とするサプリメントなども販売していた。

訪れた数か国の地方薬局は大小に関わらず多種多様な自然由来原料の製品の販売は好調である。これは社会的ニーズが反応しているようである。

欧州には漢方に関する情報が認知されていないようであった。勿論、今回は漢方製品も見つからなかった。

各国各薬局内、治療薬とサプリメントなども含め、肝臓の効果を謳う製品が見つかった。腎臓、認知症に関する（治療、或いは予防、悪化阻止の機能と効果）製品は見つからなかった。

各国各薬局内で販売されていた製品はほとんど欧州各国、アメリカで生産された製品であった。短い時間であったが、これらの状況は市場調査の一環として非常に参考になると考えられる。

現代人の寿命は延び、生きている間はできるだけ健康、元気を維持する願望が強くなった。一方、健康、元気に影響する疾病の病因も大きく変わった。細菌、ウイルスにより伝染病、感染症の脅威は少なくなり、心筋梗塞、脳梗塞、高血圧、糖尿病、がんなど生活習慣に由来の疾病が

健康、元気、寿命に致命的影響があるという事が確認、証明された。

致命症になる疾病を避ける方法は、生活改善の習慣、高い生活の質を追求するという新しい社会ニーズが世界中に徐々に普及されているようである。

しかも、専門家だけに依頼するのではなく、一般大衆自身が知識、責任を持って積極的に求めていることが分かった。全国各地の薬局の状況とその動向が明白に説明してくれた。

この新しいニーズに対して、我々はどのように貢献できるかと考え、行動すべきと新たに考えた。

